

# ごみ減量&資源循環のための 指針・事例集【概要版】

★ 本冊では、業種別の取組や事例も紹介!



全業種  
編

事業ごみの減量と資源循環を進めるため、ぜひ実践いただきたい内容をまとめています。コスト削減や収益率アップ、事業者のイメージ向上などにもつながりますので、より良い事業活動にお役立てください。



まずは分別を徹底し、ごみの種類と量を把握しながら、ごみ減量・リサイクルを進めましょう。特にオフィスでは紙ごみが多く、OA用紙の削減は大きなポイントになります。

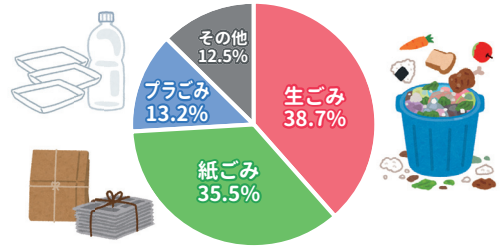
従業員以外で施設を利用する方（利用客、学生など）がいる場合は、利用者を含めた取組も求められます。

## POINT!

指針・事例集のナビゲーター  
ししんくん

生ごみのうち約4割は食品ロス、紙ごみのうち約3割がリサイクル可能な紙類で、これらは優先的に減量・分別に取り組むべきターゲット。プラスチック（産業廃棄物）の減量・分別徹底も必要です。

業者収集ごみ（令和6年度）の調査結果



## 1 基本的対策

現状を把握して  
目標を設定  
しよう!



### ✓ CHECK POINT!

○ 一歩進んだ取組

1. 廃棄物管理責任者の決定

2. 分別の徹底

① 生ごみ

② リサイクル可能な紙（新聞、ダンボール、チラシ、紙箱、紙袋、OA用紙、シュレッダー紙、機密書類など）

③ プラスチックごみ\*

④ その他（缶・びん・ペットボトルなど）

\* プラスチックごみは産業廃棄物です。一般廃棄物には入れられません。

3. 事業所内のごみ箱、ごみ保管場所での分かりやすい分別表示

4. 部署やテナント別の分別状況の把握（袋に部署名を記載するなど）○

5. 事業所から出るごみの種類・量の把握

6. ごみの種類に応じた業者との処理委託契約

7. ごみ減量・リサイクル率などの目標設定

## 👍 分別の徹底で、多様な廃棄物を有価売却!

● 宝酒造 伏見工場



オフィス各フロアに設けた分別ステーションに、品目を大きな字で分かりやすく表示した10種類以上の分別BOXを設置。部署ごとに廃棄物の責任者を決めて、分別に間違いがあれば写真付きの一斉メールで注意喚起を行っています。分別の徹底により、多様な廃棄物を有価で売却できるように。また、ごみ量を把握し、ごみ減量の数値目標を立てることで、一般廃棄物の量は年々減少。清酒・みりん粕などの食品系副産物の飼料化、肥料化にも取り組んだ結果、産業廃棄物の廃棄量も減少。廃棄物処理にかかる費用は大きく削減され、収益性の向上にも貢献しています。

## 2 事業所内（従業員スペース）での対策



### ✓ CHECK POINT!

○ 一歩進んだ取組

- 1. 従業員スペースでの適切な分別ごみ箱の設置（「個人用のごみ箱を置かない」など）
- 2. OA用紙の使用量（購入量）の把握と削減目標の設定 ○
- 3. ペーパーレス化、両面印刷、裏紙利用などの推進
- 4. 従業員のマイボトル・マイカップ利用の推進（ウォーターサーバーの設置など）

- 5. リサイクル素材を使った文具・物品の積極的な利用
- 6. 納品業者等に対する包装材の簡素化や通い箱の使用依頼
- 7. 廃棄予定物品の情報を事業者内で共有し、必要な部署等で再使用 ○
- 8. ごみ減量・資源循環についての従業員教育（研修、朝礼での伝達など）

### 👍 マイボトルの利用を積極的に推進

● 日本新薬

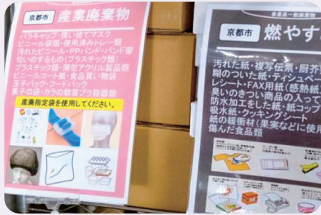
プラスチックごみの削減に向け、創立100周年の記念に全従業員にマイボトルを配布。オフィスや出張先、プライベートでの利用を呼び掛けました。あわせて京都本社には給茶機を設置。社員アンケートでは約7割が「マイボトルを活用している」と回答しています。こうした意識の定着を支えているのが、継続的な情報発信です。2か月ごとにイントラネットでごみ削減などを呼び掛ける記事を掲載。毎年9月には「SDGs Week」として講演会などを実施。楽しみながら理解を深める場を設けています。今後は給水機を増設し、さらに使いやすい環境づくりを進めていく予定です。





## 自治体ごとに作成した動画で、スタッフ教育

● ライフコーポレーション



多くのスタッフが入れ替わり働くスーパーでは、事業所の分別ルールの周知は一筋縄ではいきません。8都府県に300以上の店舗を展開するライフコーポレーションは、自治体の分別ルールに合わせた分別表記のPOPや教育用の動画を用意。新任スタッフは初日に動画を視聴。家庭とは異なる分別ルールをしっかりと学べる仕組みを作っています。



## モノも食も、ムダなく循環!

● 島津製作所



社員が日常的に使うイントラネットに「フリマ」ページを開設。部署で不要になったモノを気軽に譲り合う仕組みを2013年から運用しています。文房具から大型什器まで幅広く活用され、これまでに累計4,000件以上の譲渡が成立。これにより、月数十万円規模の経費削減効果が生じています。「不要なものはフリマへ、必要なものはまずフリマで確認」という習慣が社内で定着しています。ほかにも、社員食堂では、その日の出社人数に合わせて提供食数を調整し、残食を削減。さらに2025年からは、生ごみを分別して飼料化する取組もスタート。食堂の委託事業者と連携し、無駄のない運営を進めています。

## 3 食品ロス・生ごみ対策



### CHECK POINT!

○ 一歩進んだ取組



1. 社員食堂等での「食べ盛り」の呼び掛け（声掛けやポスター掲示など）



2. 社員食堂等での食品の発注量や提供量の最適化



3. 生ごみの「水キリ」の徹底、乾燥などによる減量



4. 生ごみの分別・リサイクル（飼料化、堆肥化など）○



## 大規模商業施設で、生ごみ大幅削減!

● 京都ポルタ



京都の玄関口、飲食店だけでも約50のテナントが入る大規模商業施設で、生ごみの分別・削減の取組が進んでいます。ポイントは4つ。

① 分かりやすい分別表示——誰でも迷わず仕分けできるように

② 店舗ごとの計量——生ごみの量を「見える化」

③ 生ごみ処理機で分解——施設内に5台設置し、分別した生ごみを処理

④ 丁寧なコミュニケーション——廃棄物担当者が各店舗に「なぜ分別するのか」

「どう減らすのか」を説明し、毎月削減状況をフィードバック

ごみ削減の意義が理解でき、成果が見えることで店舗のやる気もアップ。忙しい中でも削減が進んでいます。結果、生ごみの発生量は16.5%減。処理機で分解された分を合わせると、生ごみ44%減を達成。

## 4 施設（店舗等）の利用者や地域に向けた取組

### ✓ CHECK POINT!

○ 一步進んだ取組

- 1. 利用者に向けたごみ減量、分別・リサイクルの周知・啓発
- 2. 利用者向けの分別ごみ箱の設置（プラスチック類、紙、缶・びん・ペットボトルなど）

- 3. 利用者が排出したごみを含めた施設内の分別徹底
- 4. 施設周辺の清掃活動や地域のごみ減量活動への参加・貢献 ○

### 👍 分別表示は「具体例」が効果的

● 大和学園 京都ホテル観光ブライダル専門学校

多くの学生が通う専門学校にとって、分別の周知徹底は難しい課題。間違いやすい紙ごみの分別ボックスには、京都市作成の「雑がみ図鑑」を活用して作成したPOPを掲示。誰もが迷わずに分別できるよう工夫しています。

プラスチックの分別ボックスには「つまようじはプラですか？」とあえて質問を投げ掛けるような表示も。小さなアイデアを重ね、注意を引きつけながら、ごみの実情に合わせた具体的な例示で、正しい分別にうまく誘導しています。



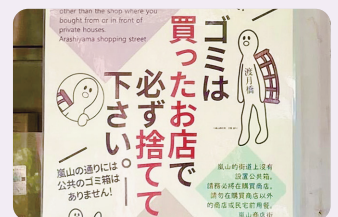
### 👍 「ごみは買ったお店で必ず捨てる」～地域の協力の中で生まれる創意工夫～

● 嵐山商店街

嵐山商店街では、観光客の食べ歩き等に伴い生じるポイ捨てなどのごみ課題に対応するため、地域、事業者、大学、京都市など多様な主体が立場を超えて知恵を出し合う「嵐山ごみ課題サミット」を継続的に開催し、多彩な取組を企画・実践中です。

具体的には、2024年秋の取組として、地域ルール「ごみは買ったお店で必ず捨てる」を守った方に対して感謝の気持ちを伝えるため、御守などの記念品を手渡す「ハートバック制度」を企画・実施。多言語ポスターでの周知により、多くの観光客等が参加し、大変好評に。さらに、毎日決まった時間にオリジナルソングを流し、各店舗が周辺を清掃する「クリーンタイム」を実施するなど、観光客も巻き込んだ取組になっています。

このように、地域でのごみ課題を自分ごととして捉え、創意工夫と連携が生まれており、食べられるスプーンの試行導入など“そもそもごみを出さない”新たな取組にも積極的に挑戦中です。



### 👍 フードドライブで地域とつながる

● エニタイムフィットネス京都太秦店（ダイレクト・ショップ）

株式会社ダイレクト・ショップは、市内に点在するフィットネスジムでフードドライブ\*を実施。集まった食品を近隣のこども食堂やフードバンクに寄付しています。ジム会員以外も持ち込み可能で、レトルト食品や缶詰、お菓子など多様な食品が集まります。寄付者には活用状況や感謝の気持ちをフィードバック。地域とのつながりを大切にしながら、誰もが参加しやすい、温かな支援の輪を広げています。

\* フードドライブ：家庭で余った食品の寄付を受け付け、様々な事情で食料を必要とする方々を支援する団体や福祉施設などに渡す取組



## 京都市環境政策局 循環型社会推進部 資源循環推進課

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

電話 075-222-3946 FAX 075-213-0453 メール gomigenryo@city.kyoto.lg.jp

● 本概要版は、ホームページからもダウンロードできます。（本冊も掲載！）

ごみ減量&資源循環のための指針・事例集 🔍 検索

